



# 朝採りにこだわった いちじくが出荷最盛を迎えます



J Aあいち尾東（日進市/代表理事組合長：石黒秀一）管内のいちじくが出荷最盛期を迎えています。愛知県のいちじくの栽培面積は全国 1 位を誇り、西三河地域が主な産地ですが、当 J A管内でも盛んに栽培しています。当 J Aの生産部会東郷いちじく分科会は市場への共同出荷をメインに活動しています。いちじくは追熟しないため、同分科会では樹上で食べごろまで熟したものを朝 5 時頃から収穫し、当日出荷します。

## 東郷いちじく分科会の紹介

生産者：7名

栽培面積：約 1ha

品 種：榊井ドーフィン

出荷先：高岡青果市場（富山県）

イトーヨーカ堂（プライムツリー赤池）

モンシェール

カフェ&レストラン『32オーチャード』

（ららぽーと愛知東郷）

出荷量：25,176 パック・9,063kg（令和3年度）

## 品質向上への取り組み

現在のいちじく分科会は加入して5年以下が4名、うち2名は40歳以下の若い生産者です。農作業の経験はありますが、いちじく栽培は初めての方が多いため、技術や知識の向上を目的に毎月圃場巡回を実施しています。また、部会員同士で生育状況を確認し合い、高品質化に努めています。

いちじくは雨に非常に弱く、収穫期の降雨により果実が腐ってしまうため、3名が簡易雨よけやいちじく用の雨よけ傘を設置した試験栽培を今年から実施。品質向上・出荷量増大を目指しています。

## 食品ロス削減・加工品への取り組み

昨年は規格外品を J Aあいち尾東で約 300kg 買い取り、ドライいちじくやいちじくジャムへ加工しました。他にも、JAあいち経済連に規格外品をジャム用として約 900kg 出荷しました。今年度も同様の取り組みを実施する予定で、食品ロスと併せて農家所得向上を目指しています。



今年度のお荷作業の様子



いちじく用雨よけ傘

## メディア対応について

メディア対応日は定めていません。ご都合に合わせて調整しますので、取材頂ける場合にはご一報ください。

## 収穫・出荷作業

生産者圃場、J Aあいち尾東南部営農センター（出荷施設）へご案内します。

8月下旬～9月上旬が収穫最盛期で、10月下旬まで収穫します。

〈問い合わせ先〉 J Aあいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：川本・中川）

TEL：0561-56-0080 FAX：0561-72-8151 E-mail:kikaku@jaab.or.jp